



和と洋がマッチしたミニバラ(テディ・ベア)のコケ玉



上/ケイビアヤメ、針犬ナズナ、イリス
下/タイツリ草、高砂カラマツ

始めよう+ガーデニング コケ玉の作り方

指導：園芸研究家 中道徹三なかつちやうさん

製作：ガーデニングショップ金久 神藤知治かみひささん

大阪府泉佐野市日根野2545

☎0724-67-2413

<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>

日本伝統の盆栽技術を駆使した「コケ玉」は、植物とコケを融合した、いわば究極の寄せ植えです。ほとんどの植物で作ることが出来、最近では、洋ラン、バラ、観葉植物などを使った洋風も人気があります。

植木鉢を使わず、ケト土と呼ばれるコケ栽培に適した粘土質の用土を主体にして作った培養土（ケト玉）で植物の根を包み、コケを巻きます。ケト土は水通しが悪いので、上から水をかけても吸いませぬ。出来上がれば受け皿の上に置き、皿に水をためて底から吸わせませぬ。皿の水は常にためておくのではなく、乾けば足すようにしてください。コケが乾いてしまったら、洗面器などに水を張って玉の部分を水に浸けるという方法も。室内で育てる場合は日当たりの良い窓際が良いでしょう。

植えてみよう！



＜材料＞

ケト玉(培養土)：ケト土6、赤玉土3、杉の皮0.5、山ごけの粉0.5の割合

コケと植物：ハイゴケ、黒花オダマキ、ヒメリュウキンカ、ヒマラヤ小桜

その他：釣り糸(または黒の木綿糸)

1 ケト玉の材料をよく混ぜて、耳たぶぐらいの硬さに練り上げ、丸めておく。



2 花苗や株の土をほとんど取り、根を1/3～半分位切る(時期や植物の種類によっては切らない)。



3 花束のように花苗をまとめ、ケト玉から土を取って、根と根の間に土を詰めるようにして植え付ける。



出来上がり

4 ハイゴケで玉全体を覆う。



5 コケの上から釣り糸でグルグルと巻く。巻き始めと巻き終わりの糸を固結びにはずれないように。

6 はねているコケをハサミで切って整える。



※水はけを好む植物には、底にミズゴケを敷いてネットを張る方法もあります。

「コケ玉教室」が6月15日(木) 10:30~12:30に「金久」で開かれます。受講料は3000円程度(材料費込み)。問い合わせは「金久」まで。